

職場環境整備に関する当社取組が 輸送経済新聞に掲載されました

2022年10月4日（火）発行の輸送経済新聞12面に、ヒガシ21の職場環境整備に関する取組について記事が掲載されましたのでお知らせいたします。

当社では従業員一人ひとりがイキイキと活躍できる職場作りに向け、引続き各取組を検討してまいります。

なお、当社取組につきましてはオフィシャルサイト サステナビリティページ「従業員と人権・ダイバーシティ」の各コンテンツでもご紹介しておりますので、合わせてご覧ください。

・「従業員と人権・ダイバーシティ」

<https://www.e-higashi.co.jp/company/sustainability/diversity/top.html>

・10月4日（火）輸送経済新聞12面

男性育休の取得率は3割超

時短勤務では、子育てや介護が必要な家族を持つ従業員が約6割に達している。

働き方選べる職場に 社員の生活事情合わせ

ヒガシトゥエンティワン



また多様な働き方ができる環境が浸透していき、人材確保を考慮に入ると、改善が必要だと感じたとする。

まずは労働時間の見直しから始めた。残業が多し社員には具体的な時間を提示しながら指導し、「残業を当たり前に考える」という風土の脱却を図った。結果、現在は社内全体の業務効率を保つため、残業の発生時間

取組は約6年前に着手した。川津洋執行役員人事部長は「物流業界は他業種と比較すると、

果、22年2月に「働きやすい職場認証制度」で「二つ星」を獲得。社員から「自分のライフスタイルに沿って勤務形態を選べる」と評判だ。

柔軟な働き方に向けた取組は約6年前に着手した。川津洋執行役員人事部長は「物流業界は他業種と比較すると、

また多様な働き方ができる環境が浸透していき、人材確保を考慮に入ると、改善が必要だと感じたとする。

まずは労働時間の見直しから始めた。残業が多し社員には具体的な時間を提示しながら指導し、「残業を当たり前に考える」という風土の脱却を図った。結果、現在は社内全体の業務効率を保つため、残業の発生時間

取組は約6年前に着手した。川津洋執行役員人事部長は「物流業界は他業種と比較すると、

つ従業員が強い味方になる。子どもが小学校に入塾するまでは、1日目の勤務時間が5時間以上であれば15分単位で短縮できる。介護の場合は6時間以上、30分単位の利用が可能だ。

家族を介護するために制度を利用する男性社員は、介護を理由に辞める必要がないのはとてもありがたいと話す。子育て中の女性社員は「子どもがまだ小さく、急がなくていい環境が必要。生活はスムーズにしたい」とする。（永井 護）

「柔軟な働き方」を可能にした結果、21年度時点で男性の育児休業取得率は33.3%。介護を理由とした退職はゼロだった。積極的な取得と周知を図るため、社内報で育休を取るためのインタビューや制度のメリットを解説している。

山執行役員は「生の声を届けることで、社内コミュニケーションにもなる。さらなる取得率の向上につなげたい」とする。（永井 護）

* 輸送経済新聞社様の許可を得て掲載しています

(株) ヒガシトゥエンティワン (証券コード: 9029 東京証券取引所スタンダード市場)

◆ 広報に関するお問い合わせ
 担当者: 企画部 久原
 TEL: 06-6941-1763
 E-mail: d-kuhara@e-higashi.co.jp
 HP: <https://www.e-higashi.co.jp/>

◆ 会社概要
 代表者: 取締役代表執行役社長 児島 一裕
 事業内容: 総合物流事業
 設立: 昭和19年12月20日
 従業員: 1,113名 (2022年3月31日現在)
 資本金: 10億円